

越前町
学校教育環境調査アンケート
結果報告書

【一般町民対象】

平成 31 年 1 月
越前町学校教育環境調査委員会

1. 調査の目的

急激に進行する少子高齢化に伴い、町内小・中学校の児童・生徒数も減少傾向にあります。こういった状況の中、越前町の学校教育環境の現況を把握し、今後も児童・生徒数の減少が見込まれることを町全体で現実的な問題として認識したうえで、将来の越前町の教育に対する展望を協議していかなければなりません。そのため、児童・生徒、保護者、地域住民の意向の把握を行うことを目的として、アンケート調査を実施します。

2. 調査の概要

- (1) 調査地域：越前町全域
- (2) 調査対象：越前町内在住の一般町民の方（無作為抽出）
- (3) 調査時期：平成30年9月27日（木）～10月12日（金）
- (4) 調査方法：郵送配布、郵送回収
- (5) 回収状況：

アンケート配布数	アンケート回収数	有効回収率
1,000	482	48.2%

3. その他

- (1) 回答結果の「%」は、アンケート配布数に対して、それぞれの回収数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の回答選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、報告書内のグラフにも反映しています。
- (2) 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) 無回答とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

問2. あなた（回答者）の年齢はいくつですか。（一つに○）

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1. 19歳以下 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 |
| 4. 30～34歳 | 5. 35～39歳 | 6. 40～44歳 |
| 7. 45～49歳 | 8. 50～54歳 | 9. 55～59歳 |
| 10. 60～64歳 | 11. 65～69歳 | 12. 70歳以上 |

問3. あなた（回答者）のお住いの地区はどの小学校区ですか。（一つに○）

地区表示ではなく、住所表示になっています。

1. 朝日小学校区

西田中、西田中1～3丁目、内郡、東内郡1～4丁目、朝日(14字～16字除く)
朝日1丁目、上川去(46字を除く)、岩開、佐々生、気比庄、田中
市、乙坂、栃川、天王、天宝、宝泉寺

2. 常磐小学校区

朝日(14字～16字に限る)、上川去(46字に限る)、金谷、青野、頭谷
菜原、境野

3. 糸生小学校区

横山、牛越、野末、大畑、小倉、下糸生、大谷寺、中野、上糸生、小川
真木、天谷、東二ツ屋

4. 宮崎小学校区

熊谷、古屋、増谷、小曾原、江波、広野、蚊谷寺、檜津、八田新保、船場
八田、円満、上野、野、宇須尾、大谷、蟬口、寺、陶の谷

5. 四ヶ浦小学校区

玉川、血ヶ平、左右、梨子ヶ平、梅浦、宿、新保、小樟、大樟

6. 城崎小学校区

道口、厨、茂原、高佐、米ノ、午房ヶ平、六呂師

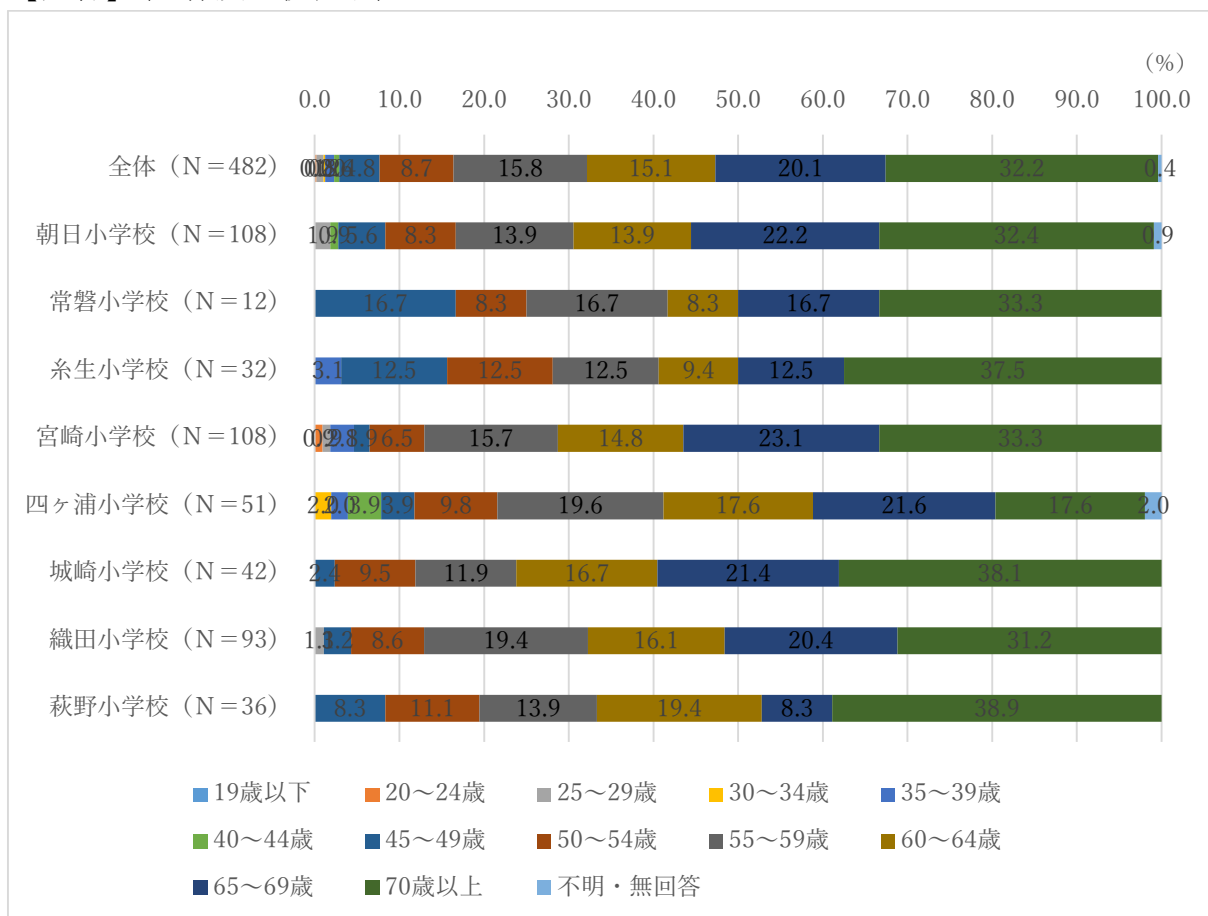
7. 織田小学校区

織田、平等、下河原、中、大王丸、三崎、四ツ杉、下山中、上山中、上戸、打越

8. 萩野小学校区

細野、岩倉、笹川、桜谷、西ヶ丘、丸山、萩野、山田、赤井谷、
入尾、笈松、茗荷

【回答】（全体及び校区別）



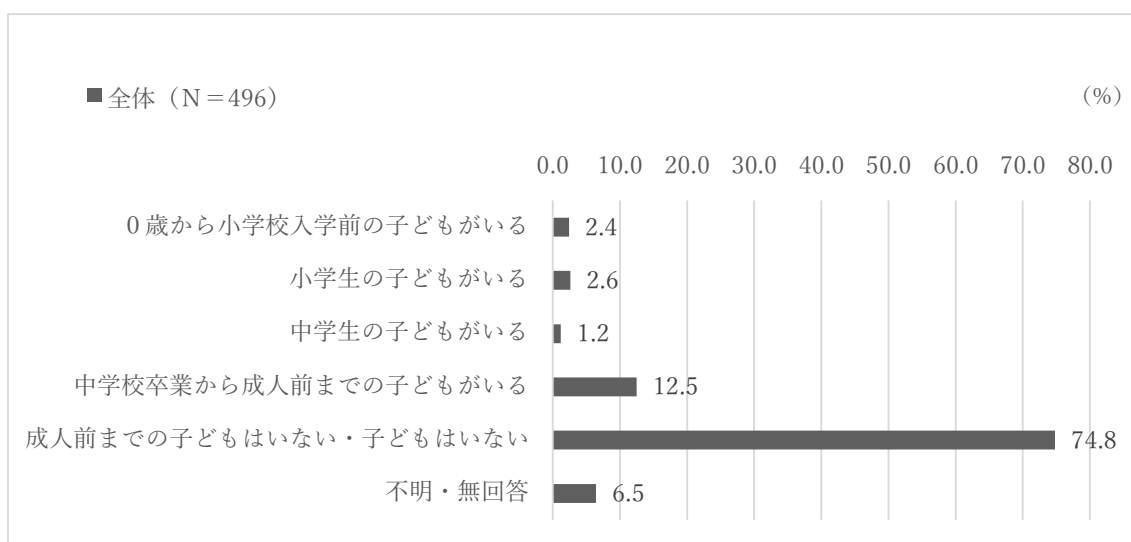
年齢別をみると、全体では、60歳代 35.2%と最も高く、次いで70歳代 32.2%、50歳代 24.5%、40歳代 5.4%となっています。

ほとんどの校区で45歳以上の割合が高くなっていますが、これは地域住民の対象者を、未就学児保護者、小・中学校保護者を除いた世帯で無作為抽出を行ったことが要因だと考えられます。

問4. あなた(回答者)について、あてはまるものに○をつけてください。
1～4を選んだ方はお子さんの人数を()内にご記入ください。

1. 0歳から小学校入学前の子どもがいる ()人
2. 小学生の子どもがいる ()人
3. 中学生の子どもがいる ()人
4. 中学校卒業から成人前までの子どもがいる ()人
5. 成人前までの子どもはいない。子どもはいない

【回答】(全体)



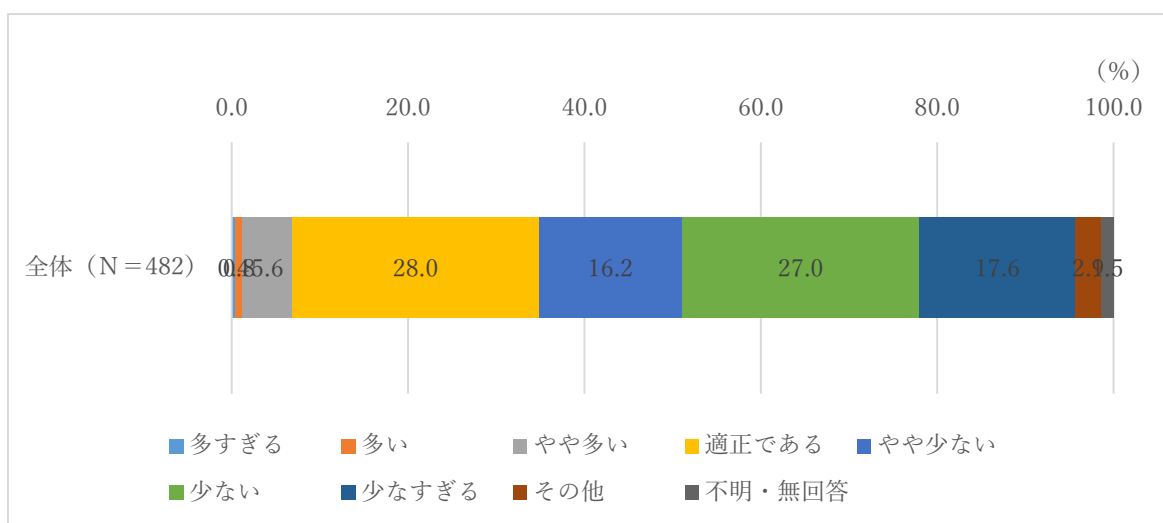
子どもの年代についてみると、全体で「成人前までの子どもはいない・子どもはいない」が74.8%、「中学校卒業から成人前までの子どもがいる」が12.5%となっています。

■学校環境の現状と課題（小学校）

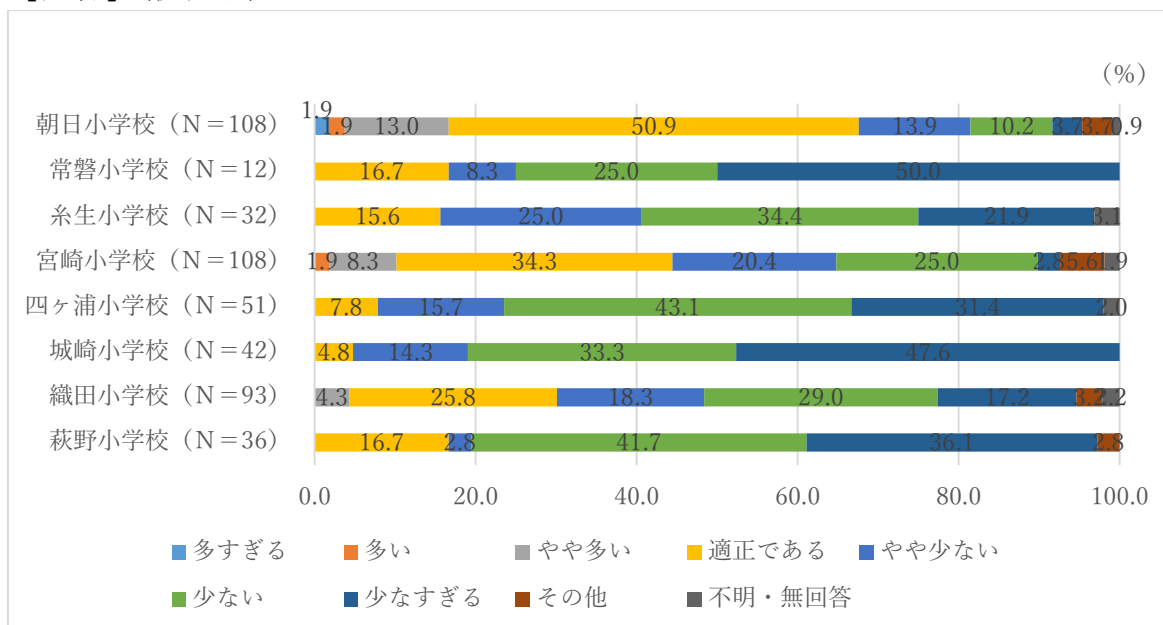
問5. お住いの小学校区の小学校について、現状の1学級あたりの児童数をどう
 思いますか。（一つに○）

1. 多すぎる 2. 多い 3. やや多い
 4. 適正である 5. やや少ない 6. 少ない
 7. 少なすぎる 8. その他（ ）

【回答】（全体）



【回答】（校区別）



お住いの小学校区の小学校について、現状の1学級あたりの児童数をどう思うかについてみると、全体では「適正である」が28.0%で最も高く、次いで「少ない」が27.0%、「少なすぎる」が17.6%、「やや少ない」が16.2%となっています。

小学校区別の回答でみると、朝日小学校は、「適正である」が50.9%で最も高く、城崎小学校は、「適正である」が4.8%と最も低くなっています。

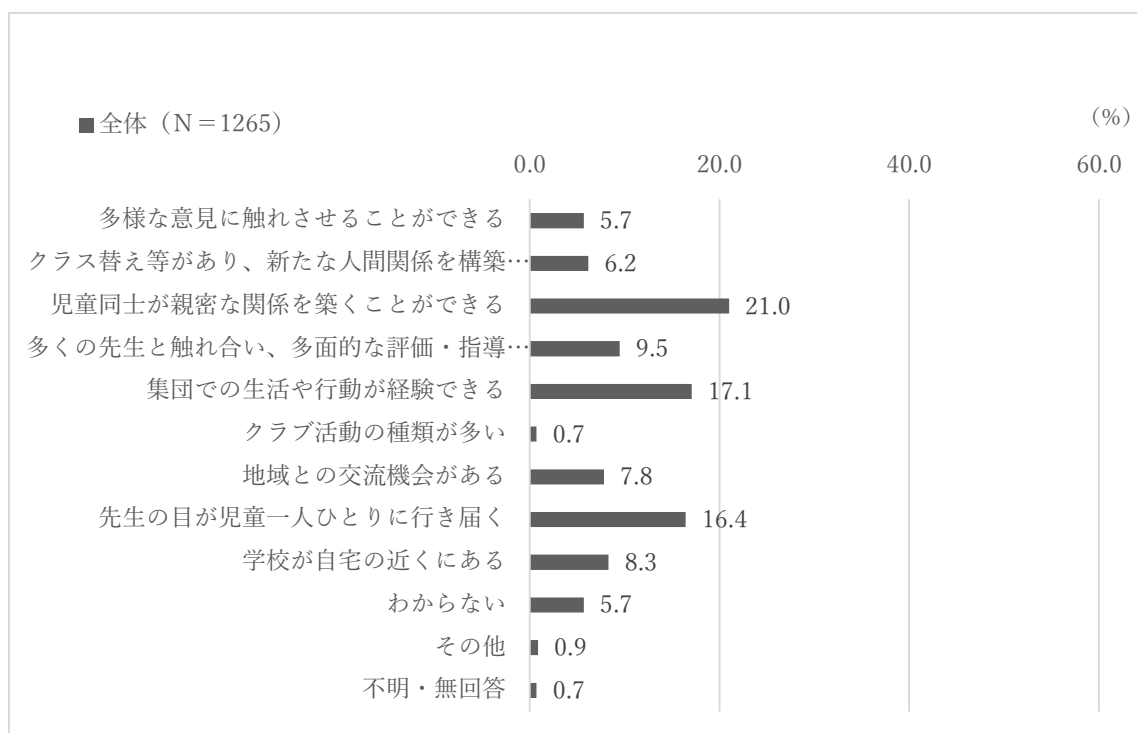
○その他の回答

- ・現状を把握していない。
- ・学習内容による。
- ・わからない。
- ・クラス30人。
- ・1クラスの場合は多すぎると思うが、2クラスの場合は少なすぎるかな？
- ・予算と教育内容方針の問題あり。数の大小は解らない。

問6. お住いの小学校区の小学校の教育環境について、あてはまると思うものはどれですか。(あてはまると思うもの三つに○)

1. 多様な意見に触れさせることができる
2. クラス替え等があり、新たな人間関係を構築することができる
3. 児童同士が親密な関係を築くことができる
4. 多くの先生と触れ合い、多面的な評価・指導を受けることができる
5. 集団での生活や行動が経験できる
6. クラブ活動の種類が多い
7. 地域との交流機会がある
8. 先生が目が見え、児童一人ひとりに行き届く
9. 学校が自宅の近くにある
10. わからない
11. その他
()

【回答】（全体）



お住いの小学校区の小学校の教育環境についてみると、全体では「児童同士が親密な関係を築くことができる」が 21.0%と最も高く、次いで「集団での生活や行動が経験できる」が 17.1%、「先生の目が児童一人ひとりに行き届く」が 16.4%となっています。

○その他の回答

- ・ 移住してきたため詳しく分からない。
- ・ 保育所から同じ同級生だから遊ぶ相手が決まっていて、他の人の触れ合いがない。
- ・ 個性を活かした指導。
- ・ いずれも「学校は適正規模がある」という学校を統廃合しようとするアンケート項目である。
- ・ 子供達とあいさつをかわす事が出来て、うれしいです。
- ・ 小学校が賑わいのある町の中心から外れたため地域の人との出会いや知り合いが非常に少なくなってしまったと感じている。
- ・ あてはまるものがない。

問7. あなた（回答者）が、小学校の教育環境として、特に重要だと思うことは
どれですか。（特に重要と思うもの三つに○）

1. 多様な意見に触れさせることができること
2. クラス替え等があり、新たな人間関係を構築することができること
3. 児童同士が親密な関係を築くことができること
4. 多くの先生と触れ合い、多面的な評価・指導を受けることができること
5. 集団での生活や行動が経験できること
6. クラブ活動の種類が多いこと
7. 地域との交流機会があること
8. 先生が目が見届く児童一人ひとりに行き届くこと
9. 学校が自宅の近くにあること
10. わからない
11. その他
()

【回答】（全体）



小学校の教育環境として、特に重要だと思うことについてみると、全体では「集団での生活や行動が経験できること」が 19.6%と最も高く、次いで「先生の目が児童一人ひとりに行き届く」が 17.9%、「児童同士が親密な関係を築くことができる」が 12.3%となっています。

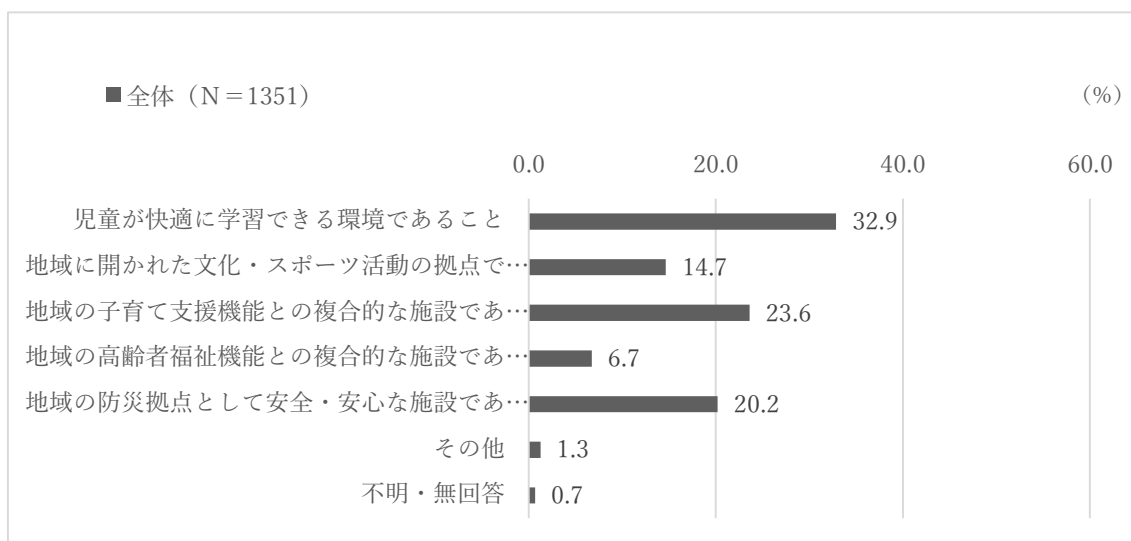
○その他の回答

- ・外で遊ぶ時間を増やし、体でいろいろな事を感じる。
- ・いずれも「学校は適正規模がある」という学校を統廃合しようとするアンケート項目である

問 8. 地域住民として、小学校に求める役割について特に重要だと思うことはどれですか。(特に重要だと思う三つに○)

1. 児童が快適に学習できる環境であること
2. 地域に開かれた文化・スポーツ活動の拠点であること
3. 地域の子育て支援機能との複合的な施設であること
4. 地域の高齢者福祉機能との複合的な施設であること
5. 地域の防災拠点として安全・安心な施設であること
6. その他 ()

【回答】(全体)



地域住民として、小学校に求める役割について特に重要だと思うことについてみると、「児童が快適に学習できる環境であること」が 32.9%と最も高く、次いで「地域の子育て支援機能との複合的な施設であること」が 23.6%、「地域の防災拠点として安全・安心な施設であること」が 20.2%となっています。

○その他の意見

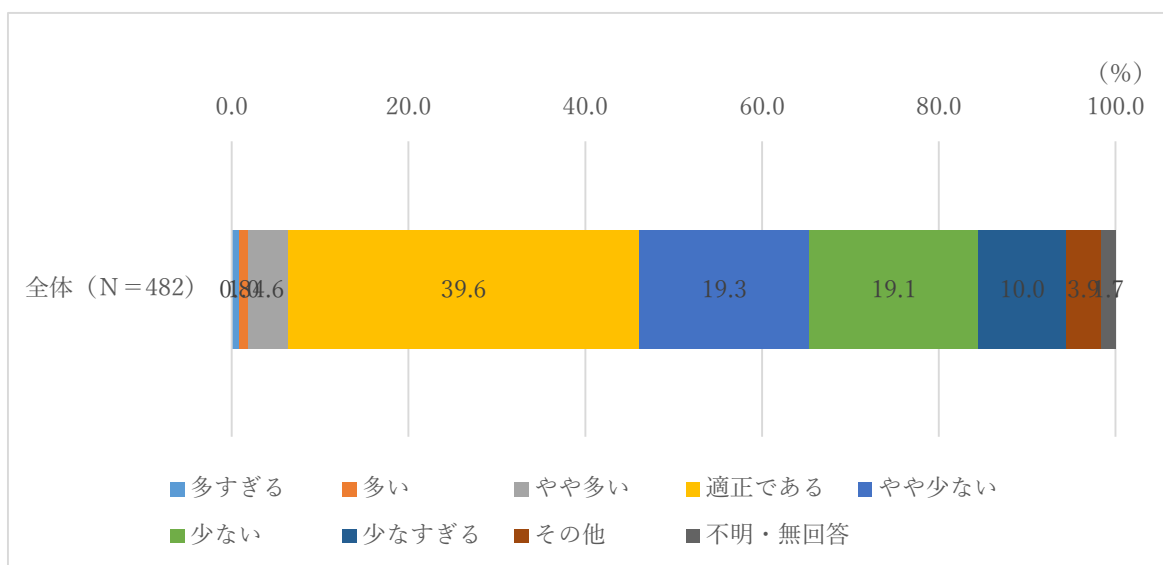
- ・回答 2. ～5. は、不随的な機能だと思う。
- ・なし
- ・外部環境において、児童の心身を健全に育てる重要な場。
- ・1年生と6年生等の縦の関係を築き、社会性を学び身に付ける。1人でゲーム等の遊びで過ごす時間を減らす。
- ・児童の一人ひとりの成長を見守る環境であること。
- ・学校を飛び出して外でいろいろなことを感じる。社会の常識的ルールの習得の場であること。
- ・法律で定められています複式学級ではありますが、なるべく単式学級でありたい。保育所等で苦労している子供をそのまま小学校ではいじめ等の問題もあります。親と話し合っって小学校に入学させることにより子供が明るくなるのであれば、地域を越えて入学させるのも一つの運用方法だと思います。
- ・子供達の探求する意欲を育てる場であって欲しい。
- ・小学校に在学している保護者という狭い視点になってしまう項目である。
- ・児童の個性を伸ばさせる事にも留意をしていただけたら。
- ・地域外の交流が必要、閉鎖的にならないように！
- ・児童の心育・心理支援にも力を入れる施設であること。
- ・地域の神社祭礼に参加できるように配慮すべき→伝統文化に触れさせ共同体意識を高めるため。
- ・心と体を育てる場所であること。
- ・学力重視だけの教育でなく、人間性豊かな心づくりができる学校。
- ・児童の自主性を育てる環境づくり。

■学校環境の現状と課題（中学校）

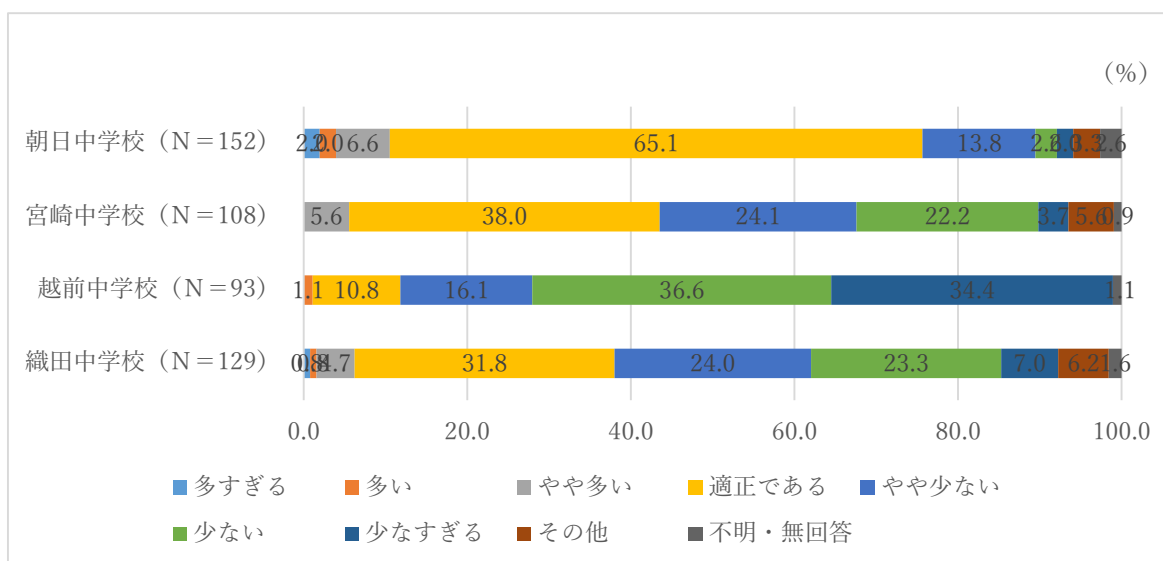
問 9. お住いの中学校区の中学校について、現状の1学級あたりの生徒数をどう
 思いますか。（一つに○）

1. 多すぎる 2. 多い 3. やや多い
 4. 適正である 5. やや少ない 6. 少ない
 7. 少なすぎる 8. その他（ ）

【回答】（全体）



【回答】（校区別）



お住いの中学校区の中学校について、現状の1学級あたりの児童数をどう思うかについてみると、全体では「適正である」が39.6%で最も高く、次いで「やや少ない」が19.3%、「少ない」が19.1%となっています。

学校区別の回答でみると、朝日中学校は、「適正である」が65.1%で最も高く、越前中学校は、「適正である」が10.8%と最も低くなっています。

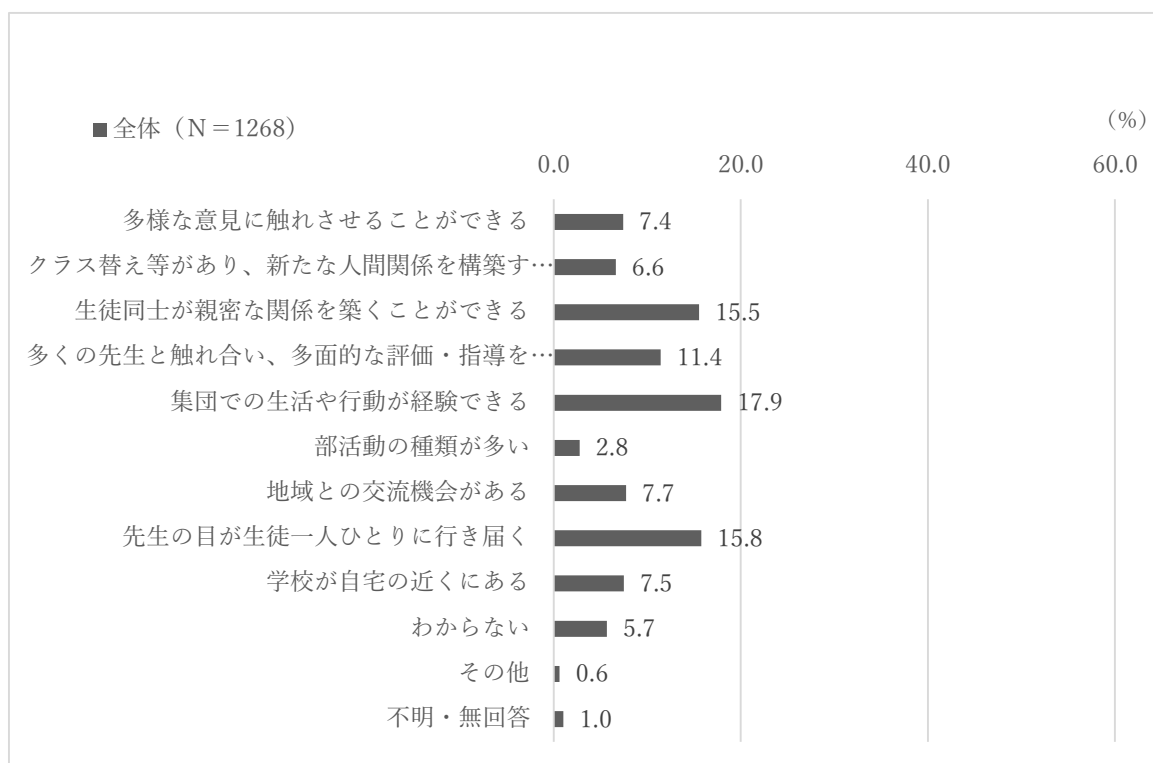
○その他の回答

- ・1、3年生は4、2年生は2。
- ・現状を把握していない。
- ・学習内容による。
- ・1クラス30人。
- ・15人まで。
- ・予算と教育内容方針の問題あり。数の大小は解らない。

問10. お住いの中学校区の中学校の教育環境について、あてはまると思うものはどれですか。(あてはまると思うもの三つに○)

1. 多様な意見に触れさせることができる
2. クラス替え等があり、新たな人間関係を構築することができる
3. 生徒同士が親密な関係を築くことができる
4. 多くの先生と触れ合い、多面的な評価・指導を受けることができる
5. 集団での生活や行動が経験できる
6. 部活動の種類が多い
7. 地域との交流機会がある
8. 先生が目が生徒一人ひとりに行き届く
9. 学校が自宅の近くにある
10. わからない
11. その他
()

【回答】（全体）



お住いの中学校区の中学校の教育環境についてみると、「集団での生活や行動が経験できる」が 17.9%で最も高く、次いで「先生の目が一人ひとりに行き届く」が 15.8%、「生徒同士が親密な関係を築くことができる」が 15.5%となっています。

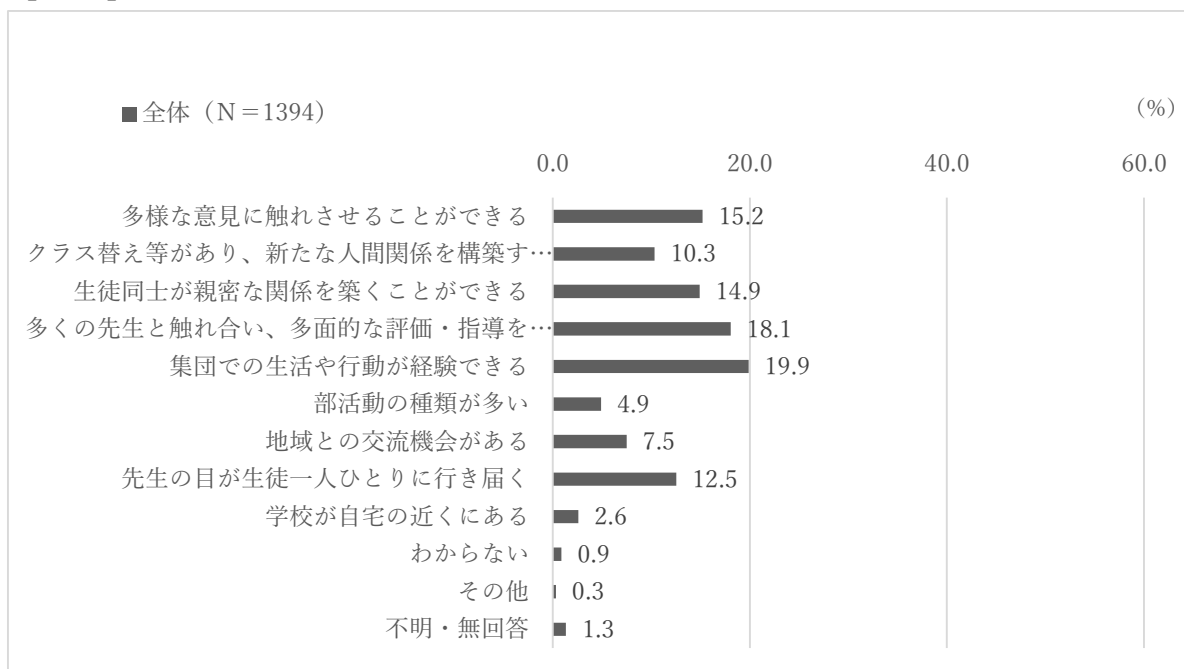
○その他の意見

- ・生徒数のわりに運動部が多いため、メンバーが足りなくて試合に臨めないのは本末転倒。
- ・移住してきたため詳しく分からない。
- ・人数が多いためか作文、表現力、まとめなど、不十分さが他校と比較してみられる。
- ・進学を考えると越前町は便利が悪い。何とかならんものか。
- ・保健室、相談室、カウンセラー室で養護員、支援員、スクールカウンセラーの心の支援が得られる。
- ・1～8 項まで完全であればそれで良い。
- ・該当項目なし。
- ・地域との交流の機会がない。
- ・自由が少ない。

問 11. あなた（回答者）が、中学校の教育環境として、特に重要だと思うことはどれですか。（特に重要だと思う三つに○）

1. 多様な意見に触れさせることができること
2. クラス替え等があり、新たな人間関係を構築することができること
3. 生徒同士が親密な関係を築くことができること
4. 多くの先生と触れ合い、多面的な評価・指導を受けることができること
5. 集団での生活や行動が経験できること
6. 部活動の種類が多いこと
7. 地域との交流機会があること
8. 先生が目が生徒一人ひとりに行き届くこと
9. 学校が自宅の近くにあること
10. わからない
11. その他
()

【回答】（全体）



中学校の教育環境として、特に重要だと思うことについては、「集団での生活や体験が経験できること」が 19.9%で最も高く、次いで「多くの先生と触れ合い、多面的な評価・指導を受けることができること」が 18.1%、「多様な意見に触れさせることができること」が 15.2%となっています。

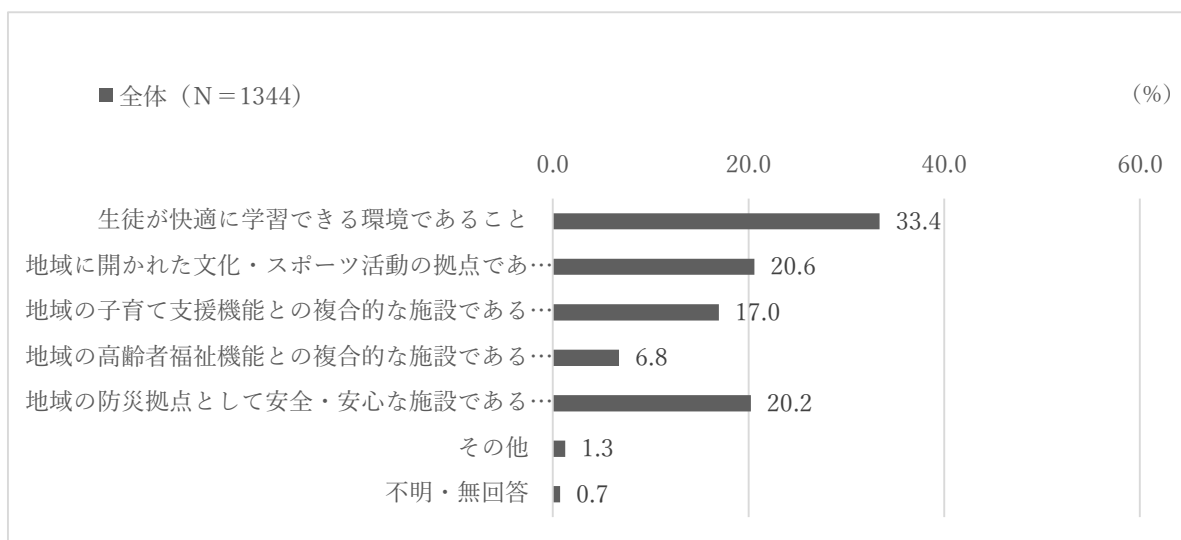
○その他の意見

- ・個人の特徴をつかみ長所を伸ばすための下準備。
- ・高校進学や就職に向けて他の地域に足を運ぶ。又は情報が得られること。
- ・学校環境も大事だが越前町の地域環境が悪い気がしている。
- ・生徒の心の支援がされること。
- ・部活動を含めた生涯スポーツ、文化の選択幅が広いこと。

問 12. 地域住民として、中学校に求める役割について特に重要だと思うことはどれですか。(特に重要だと思う三つに○)

1. 生徒が快適に学習できる環境であること
2. 地域に開かれた文化・スポーツ活動の拠点であること
3. 地域の子育て支援機能との複合的な施設であること
4. 地域の高齢者福祉機能との複合的な施設であること
5. 地域の防災拠点として安全・安心な施設であること
6. その他 ()

【回答】(全体)



地域住民として、中学校に求める役割について特に重要だと思うことについてみると、「生徒が快適に学習できる環境であること」が33.4%で最も高く、次いで「地域に開かれた文化・スポーツ活動の拠点であること」が20.6%、「地域の防災拠点として安全・安心な施設であること」が20.2%となっています。

○その他の意見

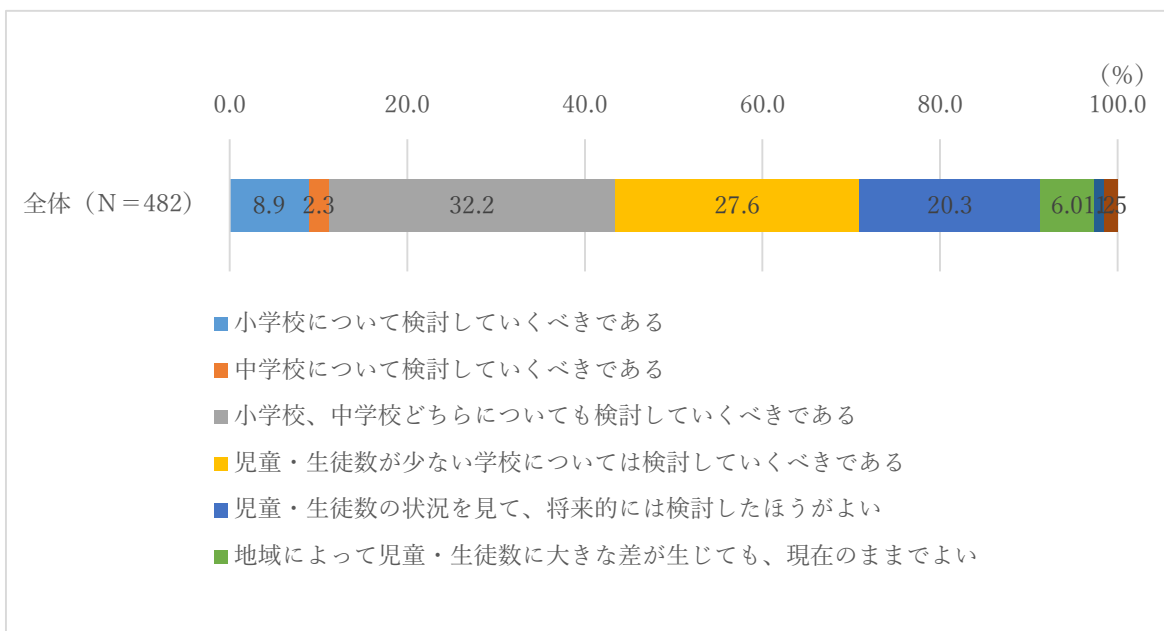
- ・町内中学校間での交流活動。
- ・2～5は、不随的な機能だと思う。
- ・近隣地域との交流。
- ・生徒が自主性を養える場であること。
- ・地元の文化産業等と触れ合い誇りを持つことができ、将来地元で就職したいと思えるような機会を増やす。
- ・社会に出て働くまで、色々な事を体で体験して、将来に生かせる準備期間にして欲しい。自由な発想を尊重すると同時に社会的ルールを認識習得する場であること。
- ・生徒の個性を引き出し育てること。
- ・自分で学ぶ大切さを教えて欲しい。
- ・子供達が将来地元に戻ってきたい町であるようにするとよい。
- ・生徒同士が切磋琢磨し、互いに成長できる教育環境であること。
- ・子供達にとって厳しくても楽しい学舎であることを期待したいです。
- ・閉鎖的にならないように地域外に目をむけさせる事。
- ・子供から大人への大事な時期なので多様性のある知識が学べる。そして育てられる環境が必要である。
- ・心の支援、育成にも力を入れる施設であること。
- ・学力重視だけの教育でなく、人間性豊かな心づくりができる学校。
- ・上下関係の在り方。
- ・生徒の自主性を育てられる環境づくり

■今後の学校教育の在り方について

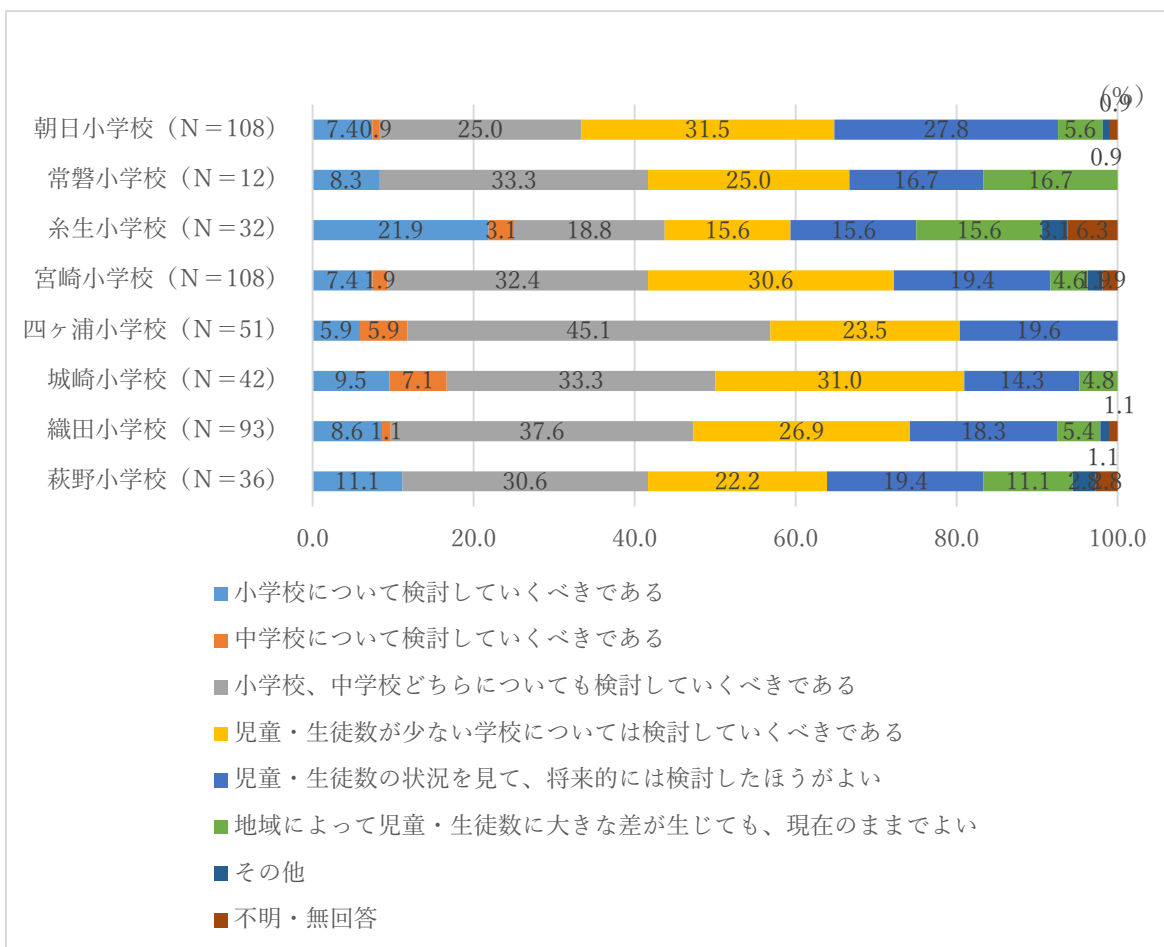
問13. 今後さらに少子高齢化が進行する中、越前町として適正な学級数や児童・生徒数について検討していくべきだと思いますか。(一つに○)

1. 小学校について検討していくべきである
2. 中学校について検討していくべきである
3. 小学校、中学校どちらについても検討していくべきである
4. 児童・生徒数が少ない学校については検討していくべきである
5. 児童・生徒数の状況を見て、将来的には検討したほうがよい
6. 地域によって児童・生徒数に大きな差が生じて、現在のままでよい
7. その他 ()

【回答】（全体）



【回答】（校区別）



越前町として適正な学級数や児童・生徒数について検討していくべきかどうかをみると、全体では「小学校、中学校どちらについても検討していくべきである」が 32.2%で最も高く、次いで「児童数・生徒数が少ない学校については検討していくべきである」が 27.6%、「児童数・生徒数の状況を見て、将来的には検討したほうがよい」が 20.3%となっています。

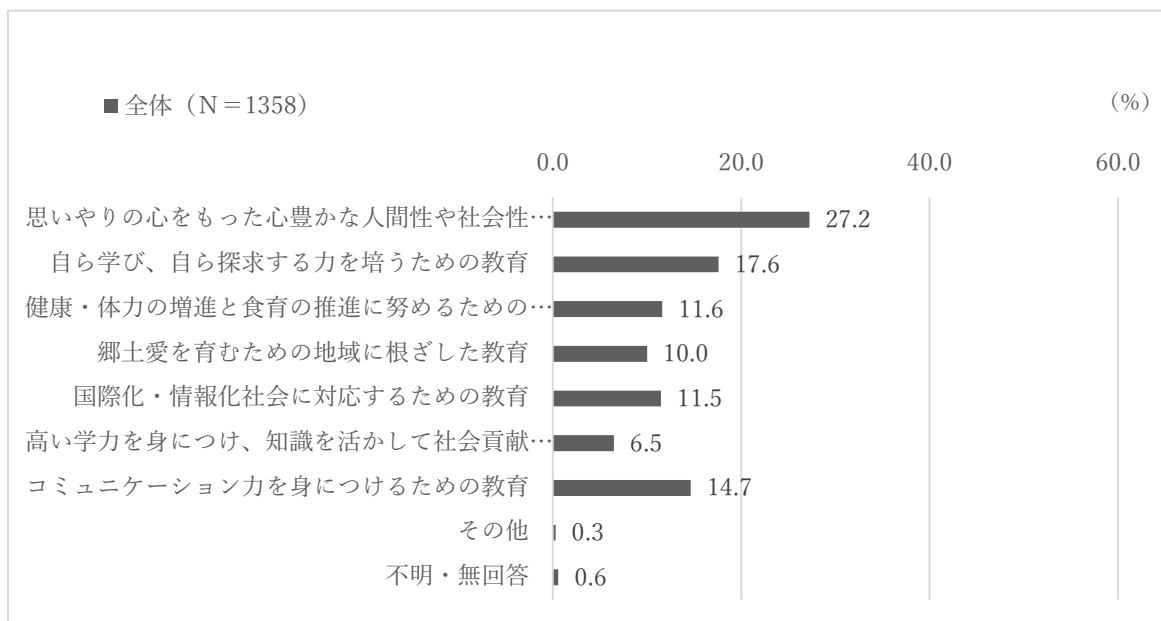
○その他の意見

- ・旧町村に1つで良いと思われます。
- ・これからの予測が分からないため。
- ・学習活動に合わせた少人数指導や学年を超えた縦割り学級等による柔軟な対応。
- ・越前町に人口増となる施設があるのが重要。住みやすい、働き場所がある若者が集まる地域づくりが大事だと思います。
- ・どういうアンケートなの？
- ・予算の問題が要点となるであろう。

問 14. 越前町として、どのような学校教育に力を入れるべきだと思いますか。
(三つまでに○)

1. 思いやりの心をもった心豊かな人間性や社会性を育むための教育
2. 自ら学び、自ら探求する力を培うための教育
3. 健康・体力の増進と食育の推進に努めるための教育
4. 郷土愛を育むための地域に根ざした教育
5. 国際化・情報化社会に対応するための教育
6. 高い学力を身につけ、知識を生かして社会貢献するための教育
7. コミュニケーション力を身につけるための教育
8. その他 ()

【回答】（全体）



越前町として、どのような学校教育に力を入れるべきかをみると、「思いやりの心をもった心豊かな人間性や社会性を育むための教育」が27.2%で最も高く、次いで「自ら学び、自ら探求する力を培うための教育」が17.6%、「コミュニケーション力を身につけるための教育」が14.7%となっています。

○その他の意見

- ・高齢者福祉への理解と介護参加をみこした教育。
- ・全部大事。
- ・海に関する教育。

問 15. 越前町の学校教育の在り方につきまして、ご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。（自由回答）

【回答】

- ・土曜日を休まず、社会奉仕又はボランティア活動を大切にする事や生きていくためのルールを守る大切さを教える。我が小・中学校時代、人間関係のトラブルで苦しんだことがあったので、今はそういうことがないとは思いますが、起こらないようにして欲しい。教育方針等は良かったと思います。このまま続けて欲しい。

- ・人として生きるために大事なことを指導する教師はどう思っているのか、身に響くものがあるのか、自分を問い直すことって難しいですね。
- ・命を大切にす教育、地域の産業教育。
- ・糸生中と朝日中が統合された後の生徒、家族、地域の意見も参考にしたかった。生徒・児童数を増やす取り組みも必要ではないでしょうか。
【産業や大学(私学)の土地等の誘致】
- ・このアンケートは、糸生中学校をなくす時の世論形成そのものである。学校をなくさずに人口増やコンパクトシティ(周辺部を切り捨てる)をどうするか?成功している自治体はすでにあるので、それを実現するための世論形成(アンケート)をすべきである。
- ・当時の町長、教育長が萩野小学校をなくすと話を持ち出されたため反対運動が起き、今の学校をつくった。生徒を増やすために5つの団地をつくった。日本のような島国は、国際化に対応できる高い学力を見に付けるべきである。
- ・いじめなどが起きないように、細かい心配りをした教育を目指して欲しい。今の数でいいと思うが、リスクが高いと思うのならどういったところか検討して欲しい。
- ・いじめに対する指導は間違わずしっかり対応して欲しい。
- ・都市部との教育格差を感じる。行政が主導して、格差を小さくする対策を取らなければ、若い世帯はどんどん離れていく。
- ・成績重視のため、ついていけない生徒は、いじめのターゲットになる恐れがある。第2の池田を出してはいけない。若い先生方、親、みんな高齢者から見れば昔非常識だった事が、今は常識に近い。もっと学校でも人間としての教育を増やして欲しい。(弱者に対してやさしく、思いやりのある人間)
- ・子供には越前町の小・中学校で学ばせたいと思われる様な状況になると若い人達が移住することになるかも知れないね。でも大変ですよ。難しい事です。

- ・全国で成功している学校を見学し、大きな改革をする時期です。今までの教育方法にこだわりすぎない。
- ・生徒数の少ない所は、合併も仕方がないと思いました。
- ・子供の数がどんどん減っていく中で、越前町のような小さな町では、やはり少ない人数なりに、1人1人の子どもたちをより丁寧に大切に教育していきける環境を人的側面、物理的側面から充実させ整えていく必要があると思います。子供たち1人1人を大切に教育であって欲しいです。
- ・3人の子供を越前町で育てさせてもらいました。自然に恵まれて、のびのびと子育てが出来ましたが、あまりにも、閉鎖的な考えの同級生が多く、自分との考えにギャップや差があるのに子供が悩む事がありました。地域に根ざした教育も必要ですが、今後のグローバル時代に対応する教育も大切なのではないかと思います。
- ・各地域で教育の指導の仕方などで差が出ないように学校間の共通の認識を持って生徒に接して欲しいと思います。また、それとは別に各地域の昔からの慣習や文化に根ざしたものについてはそれを受けついでいくような独自のプログラムがあってもいいと思います。とにかく越前町内の子供たちが大人になってもここで住んでいきたいと思える学校であってほしいと切に熱望しています。
- ・登校時や下校時に子供から「おはようございます」「こんにちは」と元気な声かけは本当に嬉しくなります。と共に交通ルールを守っている姿をみると学校の指導の良さを感じます。それが大きくなるにつれて声かけがなくなるように感じます。【新聞の一筆多論が添付されていた】
- ・小中連携での養護士、スクールカウンセラー、ケアワーカーによる心のサポート体制が出来ているので、そこに保育士を加え、保・小・中連携を確立させ、心育・心の支援にさらに力を入れていただけるとうれしいです。
- ・各学校に於いて少子化に伴い学級の児童生徒数の適正規模を欠いています。学校の再編成を考える必要があります。特に朝日南小、萩野小、城崎小などは統合が必要だと思います。

- ・子供が少ない田舎の学校だから出来る、子育て、教育について先生、地域で考えたら良いと思う。勉強に力を入れながらも、勉強だけでない、心の成長についても、考えたい。あいさつはその1歩だと思えます。朝や帰宅の地域とのあいさつは大切だと思えます。
- ・常磐小学校は朝日小にバス送迎する。小中学校生徒の文化交流を深める大人とのふれあいを企画してほしい。
- ・先生が児童生徒一人ひとりに対応できる環境であってほしいと思う。そのためには学級における児童生徒数が少ないこと、先生自身にゆとりがあることが必要だと思う。
- ・部活動の種類が少ない学校では大会等があっても参加することもできず、また参加しても部員数の少なさからこれといった成績が残せない。
- ・将来人口予測では、越前町の人口は減少する結果となります。人口減少を防ぐのか、少ない人口でもやっていけるようにするのか、方針を立ててその方針に沿って学校教育も推進して行ってほしい。
- ・常磐小学校は、児童数が少ない為大きく近い小学校(朝日小学校)と統合すべき。維持費、児童の教育のためにも検討すべき。
- ・少ない児童数の学校でも良い所が数多くあると思う。しかし、高校、大学と進学した時困らないように出来るのであれば良いのですが。
- ・少子化が進んでおり、学校(少人数)の閉鎖などをちょっと心配しています。なぜなら生徒数が多くなる分(合併し)生徒の目が行き届かないなど(いじめのことや生徒の教育、心身的な事)問題が生じてくるのではないかと思います。
- ・学校の統合は、慎重に適切に討論を重ねてくださいますよう、お願いします。
- ・児童・生徒数の減少が続いていることに対する町行政の対応が求められるのではないかと考える。

- 子供の教育を学校ばかりに集中せず、放課後の習い事やスポーツなど、地域が子供を支援する仕組みがあると良いと思う。学童を保育施設にせず、教育施設として親が不在、在に関わらず、文化的、スポーツ的活動を支援する組織を民間に委託しても良いのではないだろうか。
- 学力編重(重視)した県、県教委の考え方があり、学力調査で上位であることだけが大切ではない。子供たちが安心して学べる環境があるべき。道徳が教科となったが、教師自身が学習指導要領の道徳の目標さえ知らずに指導している。評価ができる教師の資質を向上させてほしい。
- 糸生地区から朝日中学校で子ども2人が教育を受けました。毎日のバス通学は無償で行って頂き、とても感謝しています。たくさんのお友達もでき、大きな学校での学びも多々あったと思います。合併はしょうがない事なのかもしれませんが、特に通学に配慮してもらえた事は、ありがたかったです。
- 町政上の政令があるかもしれないが、とにかく「子ども第一」の方針で臨んで欲しい。
- 児童・生徒数の状況は増加する年が期待できない。現在のまま、子供一人一人に目が行き届く努力が必要と思う。地域との交流機会を活かし、社会教育にも子供達を参加してもらい、地域全体で育てる工夫が必要だと思う。
- (越前地区の小中学校を前提に) 越前町と周辺の市の合併により、現在の福井市、鯖江市、越前市内の学校と統合し、スクールバスで通学する。廃校となった施設は、高齢者施設又は避難所として活用。
- 福井県の高い教育レベルの保持(全国的に高い)
- 町として、どういう教育をしたいのか。理念・目標・考えをあきらかにしてから町民に問うことはないのか。人材育成のためか。国の方針があるからやるのか。1クラス5名以下では切磋琢磨できないと思う。

- ・クラス替え等は毎年行うべきだと思うが、1クラスしかない学校もあると考えるとクラス替えができない学校については毎年担任を変えるなど様々な知見を得られる環境が必要だと考える。また、学校毎に指導方針が違うのは越前町としてどのように考えるのか。越前町全体で指導方針を明確にして統一していくべきであると考え。中学生においては、校則等で縛り過ぎず、自主性をもっと高めさせるべきだと考える。
- ・子供の個性を引き出し、伸ばす教育。
- ・ふるさとを愛し、成人して就職しても地元又は近辺の地域に住んでもらえるような子どもに育つ教育が大切であると考え。
- ・世代を超えて地域愛に繋がる学習。子供数が少ないのがデメリットではなく、むしろ先生たちは児童一人一人の能力、個性に行き届いた教育が成されていて、それが大きなメリットになっていると思います。そうした教育を今後とも進めて欲しいと思います。
- ・とても立派な学校ばかりで良いと思います。大きい学校は大きいなりに、小さい学校は小さいなりに良いところがあります。これまで築かれてきた歴史と伝統をいつまでも残して頂きたいと思います。
- ・今後も子供たちの目線に立った教育を先生と考えて頑張ってください。
- ・越前町に限らず、一人一人が挨拶のできる思いやりのある子であれば、立派な大人になると思います。ルールを守り伸び伸び育てて欲しいです。
- ・大野市でも小中学校の再編があがったが、越前町としても考えるべき事と思う。子供たちの減少は、越前町の税収ダウンになっていく。その中で教育の方も意味効率UPをし、教育内容は現状レベルを維持し、教育に係るコストダウンをするか考えた方がいい。
- ・今後、生徒数が減少傾向となることは目に見えていますが、学校教育はしっかりやっていくことは大切です。教育環境調査委員会が立ち上がったことは、非常に良いことで、今後も研究していくことを期待します。

- 「学力全国〇位」「英検〇級」という言葉ばかりが目立つ今の教育界は残念ではない。教育としては「人材」の育成が主ではない。「人間」の育成がメインでなければならない。越前町は、そういう学校教育であって欲しい。また、小さい学校だからこそ出来る教育も大切にして欲しい。「小さな学校の見本」のような学校づくりも考えるべきだろう。
- 将来、この越前町に戻ってくる故郷を大事にする教育にして欲しい。自ら学び自ら探求ですね。
- 少人数での学級は、教師が1～10までの目配り、気配りができる。しかし、ある程度の人数が必要なのは、子供同士の間関係や集団での生きる力が、学習への意欲にも繋がるように思う。ふるさとに根を、思いやりのある人間づくりを目指そう。
一日も早く統廃合を実現し、より高効率、グローバル化に取り組むべきと考えます。既存の利権は一日も早く取り除いてください。応援しています。